

ひきこもり家族会「やまぼうし」

私たちは、活動開始から2年目にえんがわファンドの存在を知り、申請しました。助成金は、学習会の開催(講師謝礼)と活動を知っていただくためのリーフレット作成に活用させていただきましたが、学習会では、家族の会話を対話に変えるための方法を学ぶ等、ワークも交えたいきいきとした家族会が開催できるようになりました。リーフレットは、市内の公共施設等に配架していますが、家族会の存在を知らずに悩んでいる方の目に少しでも留まってくれたらと想いを込めました。

えんがわファンドへの申請を通じ、家族会が本当に自分たちのものになったという実感があり、嬉しく思っています。



団体リーフレット



今回ご紹介した団体の他にも、子ども食堂や高齢者の健康長寿を目的とした活動、災害支援を行う団体など、多種多様な団体(延べ170団体)に助成してきました。えんがわファンドの助成決定をきっかけに、団体の活動が一層広がり、いきいきとした活動になっていく姿は、私たちの大きな励みでもあります。

誰もがまちづくりに参加できる仕組み

「調布のまちがより豊かでよいまちになる」これは調布に住む誰もが望んでいるのではないのでしょうか。えんがわファンドは、ひとりひとりができることを無理なく行って、この願いに関わることができる仕組みです。

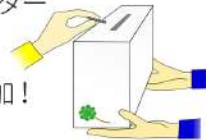
選べる参加のかたち

①寄付で参加

えんがわファンドサポーター会費
1口3,000円の
寄付で参加!



えんがわファンド募金
市民活動支援センター
募金箱へ
1円～の寄付で参加!



使用済み切手、外国コイン、入れ歯
自宅にある意外な
物の寄付で参加!



②活動で参加

寄付物品の仕分け、整理
使用済み切手の整理ボランティア
として参加!



ちょうふチャリティーウォーク実行委員会
参加費まるごと寄付になる
イベントの実行委員
として参加!



③イベントで参加

ちょうふチャリティーウォーク
参加費を払って参加!



まちづくりに関わると言う、「大変そう」「忙しくて時間がない」と思う方も多いかもしれませんが、参加のかたちは、実は様々です。時間をかけなくても、継続しなくても参加できる方法もあります。特別なスキルや専門的な知識がなくても、できることがあります。

市民活動支援センターでお待ちしています!

市民活動支援センターでは、皆さんの「調布のために何かしたい」という想いを応援・実現するため、様々な提案を準備しています。何かしたいけれど継続的な時間の確保ができない方や、団体の活動に参加するのはちょっと苦手という方は、まずはえんがわファンドからまちづくりに参加してみませんか?